

1 県猟友会がブルーベリーの苗木を無償配布

5/16



茨城県猟友会笠間支部の皆さん

県猟友会が、県内5か所でブルーベリーの苗木の無償配布を行い、市内でも県猟友会笠間支部のメンバーが中心となり、市民の方へ苗木を配布しました。

この取り組みは、「愛鳥週間（5月10日～16日）」にあわせてのもので、ブルーベリーが野鳥のエサとなることから、収穫する実を野鳥と分け合ってもらおうという趣旨で毎年実施されています。

3 市内小中学校で陶芸教室を開催しました



作品制作の様子

市内小中学校で陶芸家を講師に迎え、「第20回全国こども陶芸展inかさま」に向けた陶芸教室が開催されました。子どもたちは創意工夫した作品制作に励み、陶芸を楽しみました。7月23日から茨城県陶芸美術館で開催される展覧会では、20回目を記念し、全応募作品が展示されます。

4 笠間市とメニコンが旧校舎活用に 向けて協定締結

5/28

市とコンタクトレンズ大手の株式会社メニコンが、旧東小学校の校舎活用に向けた連携協定をオンラインで締結しました。

「廃校舎活用事業」の一環として行われるこの取り組みで、廃校となった校舎が“愛犬との暮らし”を支える新たな場所へ生まれ変わり、地域交流ルームやドッグランのほか、万が一愛犬を飼えなくなった際の会員制預かりサービスなどがメニコンにより提供されます。



2 小中学校で1人1台 タブレット端末を配布

5/17



友部中学校での配布の様子

市内小中学校でタブレット端末が1人1台ずつ配布されました。

市では、パソコンやインターネット、学習用ソフトなどの情報通信技術を活用した、“ICT教育”に力を入れていて、今回の“1人1台端末”の始動により、学習方法が大きく変化していきます。

各校ではタブレット端末の貸与式が行われ、待ちに待った配布に子どもたちの笑顔がこぼれました。



株式会社メニコン 新規事業統括本部 伊藤渉 統括本部長(モニター内)